



▲山の日シンボル「山の日帽」を受け渡しするリレーセレモニーに登場しました



みどりの 女神が行く!

藤本麗華 (ふじもと れいか)

イベント盛りだくさんの 第4回「山の日」記念全国大会に出席

8月11日は山の日です。私は山梨県甲府市で行われた第4回「山の日」記念全国大会記念式典に出席させて頂きました。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝をする」のが山の日です。式典では、山が私たち人々の生活に欠かせない水や土地、海の幸をもたらす源であることが紹介されました。

トークショーでは山を愛するシエルパ斎藤さん、小林千穂さん、釈田美子さんらがそれぞれの山の思いをお話。3人のお話に通じていたのは「山には一生かけても味わい尽くせない魅力がある」という愛情です。

甲府は四方を山に囲まれています。私の出身の東京都羽村市もみどりがたくさん有ります。私も山の近くに住んで、みどりと共に歩んでいきたいと思いました。なお、来年の第5回の「山の日」大会は大分県で開催されます。

大自然に触れる「第18回やどりき水源林のつどい」に参加

神奈川県の新松田で行われた「第18回やどりき水源林のつどい」に参加しました。谷川のせせらぎが心地よい森の中で、

こども達のびのびと遊ぶ人気イベントと聞いておりましたが、まさにその通りでした。

バスで到着した会場は、河辺の木々の木漏れ日が水に反射してキラキラときれいです。こども達にとっては、水辺の生き物探しや山の探検隊、木のおもちゃで遊んだり、スイカ割りや紙芝居など、丸一日遊べるイベントが目白押しです。

私はみどりの募金の呼びかけや式典の司会を行うほか、森と水の関係をわかりやすく紹介するしずくちゃんの紙芝居を披露しました。

紙芝居といいながら、実は紙ではなく木でできた「木芝居」で、発色も良くとても素敵な仕上がりでした。

あと、水源林の役割を理解するための実験装置では、木のない土地と、木々が生える土地から生まれる水を比べると、透明度がぜんぜん違います。こどもでも一目見てわかり、驚いているようでした。

木を使ったものづくりの魅力を 感じた「木とのふれあいまつり」

埼玉県木材協会主催の「木とのふれあいまつり」は、地元親子に夏の思い出になるような、木の遊びが満載でした。色々な形の積み木大会、わなげ、輪ゴム鉄砲工作コーナーなど、どれもこども達でいっぱいです。

特に、ジャングルジムを作るアトラクションでは、一生懸命に木のハンマーを振るい、モノを作り上げる楽しさを感じているようでした。

私が心惹かれたのは、チェーンソーアートです。

大きな一本の丸太からスタートし、だんだんと作品が見えてくる様子は見応えがたっぷりでした。

1時間という短い中で、設計図もなにもないところから出来上がっていく様子は圧巻で、製作者の方の想像力は本当に素晴らしいものです。

積み木もジムもチェーンソーも「作る」気持ちで刺激してくれます。私も木でなにか作りたい!そんな気持ちになりました。



▲第18回やどりき水源林のつどいにて「紙芝居」ならぬ「木芝居」を披露しました



▲埼玉県ふれあいまつり 完成したチェーンソーアート! たった60分前はただの丸太だったなんて信じられない!